

新春ごあいさつ



運営委員会 会長
久保 憲雄

あけましておめでとうございます。謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

JAいわてグループの会員JA組合員・役員ならびに家族の皆さま方には、お揃いで新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年おまた多くの自然災害に見舞われた年でありました。頻発した豪雨や相次いで発生した台風などによって、県内の各地が多くの被害を受けました。被害を受けられた皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

また、昨年は純情産地いわてを掲げて30周年という節目の年であり、県産農畜産物の生産に取り組んでいる大勢の生産者・応援いただいた消費者・JA関係者の皆さんにご協力いただき、6月に「躍進大会」8月に「感謝祭」を開催することができ、心より感謝申し上げます。新年号となり、新たなステージの始まりとなる今年には、「純情産地いわて」がより一層地域と全国から愛されるブランドとなるよう取り組んでまいります。

さて、国内の農業・JAを取り巻く情勢を見ますと、高齢化リタイヤによる農業者の減少のほか、ライフスタイルの多様化、農業改革等大きな変化のうねりの中にあります。また国際通商交渉については、昨年12月末に発効された新たなTPP11協定自欧EPAや日米物品貿易協定(TAG)の交渉開始など、さらなる市場開放に

向けた動きが進められております。こうしたなかで、昨年11月に開催された「第45回JA岩手県大会」の決議にもとづく「農家組合員の所得増大と農業生産の拡大」へのさらなる挑戦に向けた最重点施策を引き続き着実に実践してまいります。「担い手対応の強化」は、担い手サポートセンターやJAと連携し、「農業は、感動がある・かっこいい」と感じることで経営体を育成するよう支援していきます。「マーケットインによる販売の強化と生産振興」では、米穀の複数年固定価格契約の提案や関係機関と連携した更なる輸出拡大を積極的に取り組みます。「トータルコスト引き下げと低コスト生産技術の確立普及」は、反収向上・省力化・低コストに向けたスマート農業の技術を普及させてまいります。

また、第49回全農臨時総代会で決定した「農林水産業地域の活力創造プラン」に係る本会の対応について、自らの改革として生産資材事業販売事業の実施具体策を実践し、持続可能な岩手の農業振興、農家組合員の所得増大と地域の活性化に、引き続き職員一丸となつて取り組んでまいります。

新しい年を迎え、本年も皆様方の変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、益々の「健勝と」発展を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



県本部長
畠山 俊彰

新年あけましておめでとうございます。

さて、本年は新たな中期3か年計画の初年度であり、昨年開催された第45回JA岩手県大会での決議にもとづく「農家組合員の所得増大と農業生産の拡大」へのさらなる挑戦に向けた最重点施策を引き続き着実に実践してまいります。また、2017年3月に「農林水産業地域の活力創造プラン」に係る本会の対応として、農業所得の増大に向けた生産資材・農産物販売事業分野でのJAグループとしての自己改革の方向性とその具体策を策定し、実践してまいりました。今年で3年目となりますが、引き続き持続可能な岩手の農業振興、農家組合員の所得増大と地域の活性化に、職員一丸となつて取り組んでまいります。

第一に、「担い手対応の強化」に向けて、営農支援部を新設し、大規模化・高度化・専門化する担い手ニーズに対し、JAと連携して個別支援や事業提案し、担い手経営体の所得増大・生産基盤確立に取り組めます。米穀部門では、米穀推進センターを設置し、地区担当者が迅速的確な対応をします。園芸部門では、集落営農組織・法人への園芸品目導入支援や各JA主力品種の反収向上への取り組みを強化します。また労働力確保対策は、中央会と連携し、全国の先進事例を収集研究のうえ、JA域を超えた労働力確保対策等の検討をすすめます。

品種「金色の風」「銀河のしずく」のさらなるブランド化による販売強化をし、また共同計算運営の抜本的な見直しを強化します。園芸部門は、加工業務用向け野菜の買取拡大をはじめ、「いわて型野菜トップモデル産地創造事業」を活用し、いわて純情野菜の作付拡大に向けた取り組みをサポートします。畜産部門では、乳牛借り腹事業により、借り腹牛への受胎卵無償移植および産子の早期引取を実施し、和牛生産基盤の強化に取り組めます。また、引き続き「いわて牛」ブランドのPR強化を関係機関と連携して取り組みます。

第三に、「トータルコスト引き下げと低コスト生産技術の確立普及」ですが、米穀部門では広域集出荷施設の活用や大型実需向けトラクターの運行増便などコスト低減をはかります。資材部門の「BB肥料大規模農家対策」の農家段階での定着、農業では「担い手直送規格」のさらなる普及・拡充に取り組めます。また、水稲省力・低コスト栽培技術として「高密度播種水稲移植栽培技術」および「水稲直播栽培技術」の普及をはかります。

本会はJA・組合員の皆様のご期待に応えるためにJA自己改革の着実な実践を進め、しっかりと成果をあげ、岩手の農業の発展および農家組合員の所得増大に貢献していく所存でございます。



特集

JA-SSの お客様満足度(CS) 向上に向けて

北東北石油事業所

タイトルのKlara (クララ) は、宮沢賢治の手帳にのっている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。

純情産地発
クララ KLARA vol.834
2019

contents

新春ごあいさつ	02	みんなの分教場	07
特集 JA-SSのお客様満足度(CS)向上に向けて	03	純情むすめハーフタイム	08
純情産地いわて30周年記念企画	06	ニュースワイドアングル	10

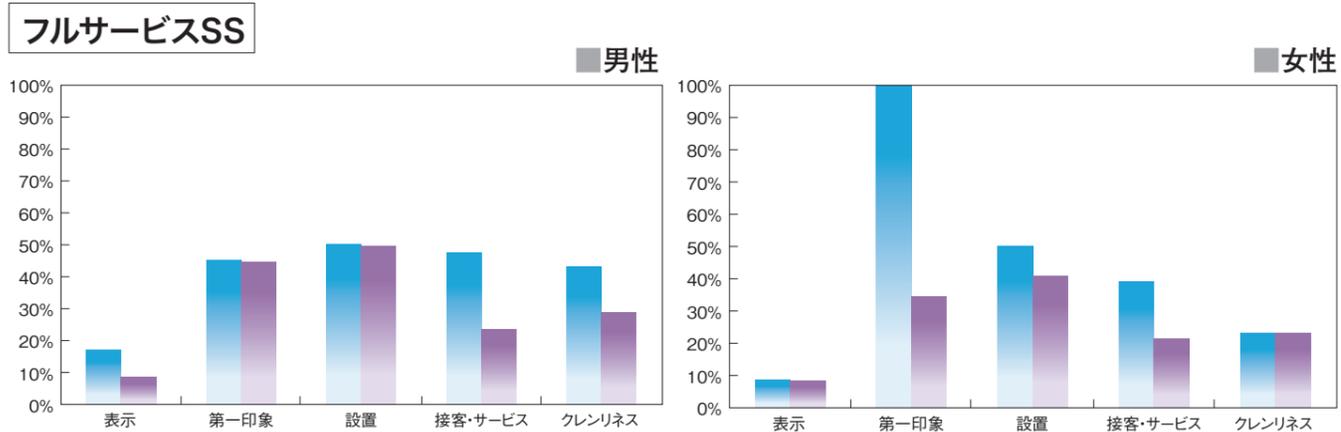
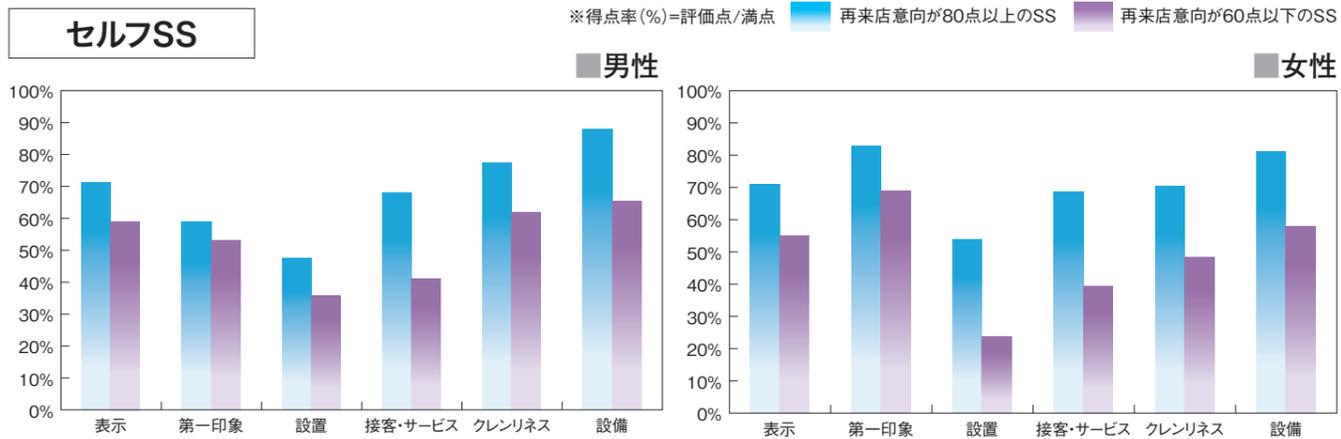




7. カテゴリー別の得点
 再来店意向が80点以上のSSと、60点以下のSSとの違いについて、6種類のカテゴリ別得点率で比較したのが下記の表となります。
 この表からは、お客様の再来店にとって重要視されているポイントを読み取ることができます。セルフSSでは表示から設備の充実までSS毎に差がありますので、総合的に判断されてお客様に選ばれているという結果を得ました。フルサービスSSの結果は、男性調査員については「接客・サービス」や「クレンリネス/清潔さ」の違いがポイントであった事が読み

取れます。一方、女性調査員においては、「第一印象」に大きく差が出ており、来店時のファーストコンタクトが店選びのポイントとして重要であるとの結果を得ました。今回の調査では、性別によっても店選びのポイントが異なっている事を認識できました。調査で浮かび上がった課題を改善していくことで、より地域に愛されるSSづくりを目指していきます。

おわりに
 この調査結果を踏まえ、お客様が快適に利用できる店舗となるように、今後も取り組みを強化してまいります。



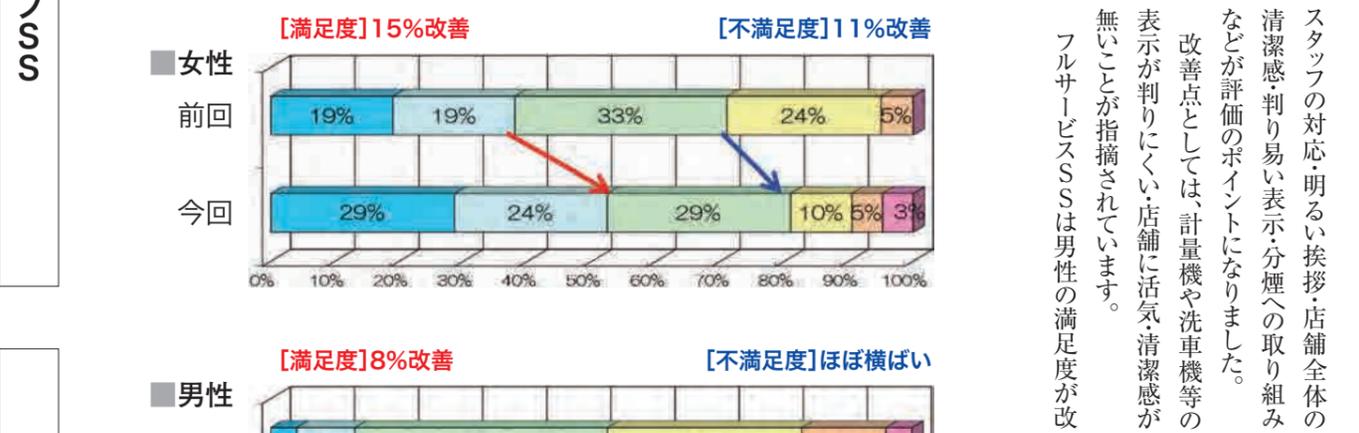
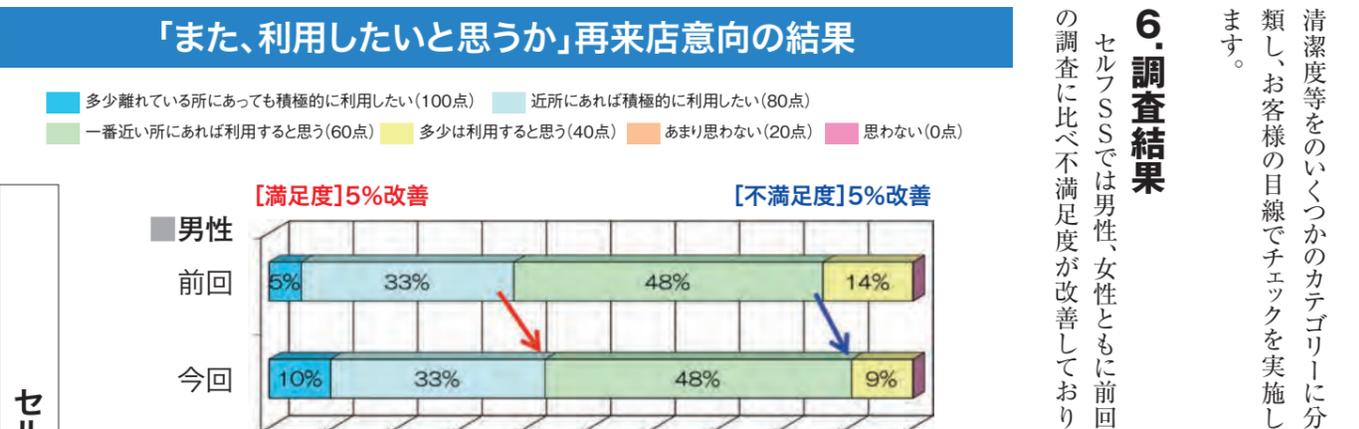
1. 調査目的
 いわてJA-SSチェーンでは、お客様満足度の向上に向けて毎年、覆面調査員による現地調査を実施しており、今回で8回目の調査となっております。

2. 調査期間
 前回…平成29年6月
 今回…平成30年6月

3. 調査対象
 岩手県内JA-SS44ヶ所
 (内訳…セルフSS 21ヶ所、フルサービスSS 23ヶ所)

4. 調査員
 一般の男性、女性1名ずつ(派遣会社へ委託)

5. 調査方法
 専用の調査シートによる覆面調査を基本とし、調査対象への事前告知はしておりません。調査時は現金客を装って来店します。車からの視点、給油中に見える視点を接客・告知物・店舗の



6. 調査結果
 セルフSSでは男性、女性ともに前回の調査に比べ不満足度が改善しており、清潔度等をいくつかのカテゴリーに分類し、お客様の目線でチェックを実施します。

スタッフの対応・明るい挨拶・店舗全体の清潔感・判り易い表示・分煙への取り組みなどが評価のポイントになりました。改善点としては、計量機や洗濯機等の表示が判りにくい・店舗に活気・清潔感が無いことが指摘されています。

フルサービスSSは男性の満足度が改善しており、キャンペーンへの案内・丁寧な説明窓ふきサービスなどが改善へのポイントとなっております。一方で女性満足度は減少しており、休憩室内やトイレの汚れ・スタッフに笑顔が欲しいなどの意見が寄せられました。この様な意見も参考に、今後の改善に努めてまいります。

巧さん 実家が岩手園芸のため、「将来は私もここで農業をするのだから」と思い、そのまま就農しました。父が作業している姿を小さい頃から見てきて、迷いもなく自然と思いました。農業高校、農業短大・福島での研修を経験し、当園に入ってから今年で32年目になります。妻とは高校の時、同じ農業クラブの役員を務めたことで知り合いました。その後、縁があって結婚に至り、今年で30周年を迎えます。

千恵子さん 始めは他の会社に勤めていたが、結婚を機に岩手園芸に嫁いできました。実家は米農家で私自身3姉妹の長女でありましたが、ここに嫁ぐことができ、現在に至ります。

徹底した考えと作業

巧さん 普段は、社員やパートの方々と一緒に現場で作業をしています。当園で取り扱う花の品種は40種類。主な品種はリンドウ、シクラメン、カーネーションです。年間約80万鉢を生産し、スーパーやホームセンター、生花市場へ出荷しています。大量生産・人件費削減のために自動灌水装置などのハイテク装置を導入し、多くの種類の花を一度に管理しています。また、安定した



巧さん(左)と千恵子さん(右)

純情産地いわて30周年記念企画
**“純情産地いわて”を
 支え・育む力を
 インタビュー!!**



岩手園芸 **佐藤 巧・千恵子** 花巻市

今回は、花巻市の生産者 佐藤巧さん、千恵子さん夫婦にインタビューしました。2人は「南岩手園芸」にてリンドウやシクラメンを始めとした多くの鉢花・花壇苗を生産。今年で結婚30周年を迎えた2人に、鉢花・花壇苗に対する思いと、これまでの2人の歩みについてお聞きしました。



収入を得るため、メーカーからの委託事業にも取り組めます。納期・品質・数量の厳守は絶対条件のため厳しい面もありますが、現在はデルモンテ・サントリー・サカタのタネと提携し、細かく情報共有を行っています。

千恵子さん 私は経理や労務管理などの事務作業を行います。始めた当初は分からなかった農業簿記も、今では労務士さんに褒められるほどになりました。他にも当園で生産された花をバスケットに入れ、装飾する作業もします。花屋が行う作業を生産現場で行うことにより、鮮度の高いものができあがります。種類も豊富なため、当園の花だけで作られることも魅力の一つです。従業員やユニバースの方々アイデアを出しながら作成し、販売しています。オーダーメイドも承っておりますので、ぜひ当園のHP

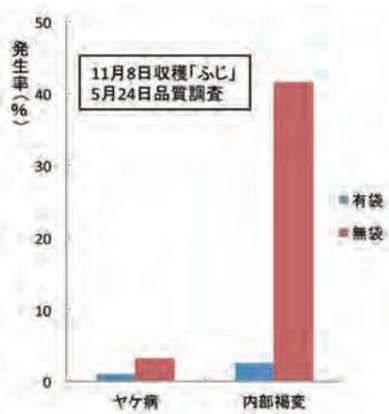
みんなの分教場

「りんごの袋かけ栽培」

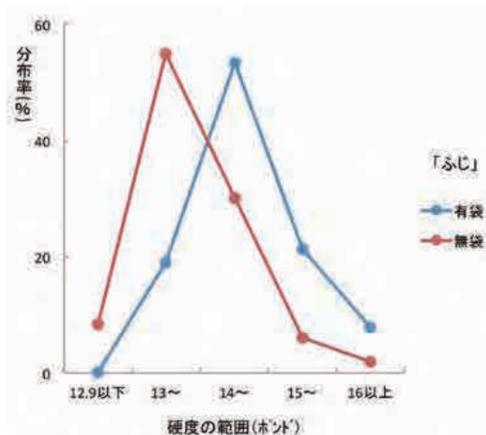


園芸部
生産販売課
技術主管

佐々木 仁



■図2 被袋の有無と貯蔵障害の発生率(青森りんご試, 1976)



■図1 被袋の有無と果実の硬度(青森りんご試, 1976)

1 有袋栽培の歴史

りんごの有袋栽培は、明治24年頃に岩手県の実験者がチョッキリソウムシの防除のため紙袋を用いたのが始めとされ、さらにシクイムシ類の防除にも使用されるようになりました。次いで斑点落葉病の防除効果も確認され、長年病害虫対策に用いられるようになります。

その後、新規薬剤など防除技術の向上によって袋



■図3 トラ模様有袋「金星」(盛岡地方のみで流通)

かけの存在意義は一時薄れたものの、果実の着色促進に効果のあることが明らかとなり、品質向上へと使用目的が変化していきました。同時に、有袋にすることで果実が硬くなり(図1)日持ち性が増し、また内部褐変やヤケ病など貯蔵障害も著しく軽減できること(図2)から、青森県を主体に長期貯蔵を目的とした袋かけも長く行われています。

一方、有袋果は糖度の低下や風味の減少など食味が損なわれることが多いこと、生産者の高齢化や労働力不足で、袋かけ作業の削減を迫られたことなどから、有袋栽培の見直しが求められるようになりました。

このため、肥培管理やせん定法など栽培技術の改善で無袋でも一定の着色を得ることが可能となったこともあり、現在は「サンふじ」などの呼称を用い、無袋で食味重視の生産販売が進められています。



■図5 被袋の有無と「はるか」の外観の違い(左:無袋 右:有袋)



■図4 収穫直前の有袋「はるか」

2 「冬恋」ブランド確立への貢献

岩手県では、一部特殊用途(図3)を除き有袋果はほとんど見られなくなっていますが、近年は「はるか」の有袋栽培が増加しています(図4)。これは、高糖度という「はるか」の品種特性が有袋でも優れた食味を發揮し、かつサビが少なく美しい外観を実現できること(図5)、さらには、収穫の晩期に樹上凍結の危険性を軽減できることなどから行われているからです。

このように、りんごの袋かけは明治時代に始まった古い栽培技術ではありますが、時代とともにその目的や方法、材質を変化させながら使われてきて、現在は「冬恋」というオリジナルブランドを確立する大きな役割を担っています。

やりがいと失敗を糧に

でカタログをご覧いただきたいです。

巧さん 種から育てた花や苗が、お客様の元へ届き、感動してもらえた時は嬉しく思います。作業を自動化していても、自分の目で見ながら育てることは大事です。やりがいを大いに感じます。もちろん、大変なことや失敗したことも沢山あります。天候の変化、開花の時期の調節など。当園では母の日に合わせてカーネーションを出荷しますが、母の日当日に開花しなければ意味がない。これがとても難しく、何度も失敗を経験してきました。母の日が近づく度に眠れなくなるほど(笑)。お客様に喜んでほしい思いで精一杯頑張っています。

千恵子さん 従業員の方々が率先して行事を開催してくれるのも、日々のやる気に繋がっています。マルカンパートでお昼を食べたり、寸劇などの出し物披露をしたり。毎年、内部向けにオリジナルカレンダーを作ってくれるのですが、これが「よく思いついたね」というくらい面白い仕上がりです。皆が活発に動いている姿を見るのが楽しいですね。

岩手園芸の花を多くの方に

巧さん 南の地方の気候は春の花、東北地方の気候は秋の花の生産に適しています。岩手の朝晩の寒暖差が、高発色で締まりの良い花の生産を可能にします。そのため、高品質の秋の花を南に出荷できているのが岩手の強み。一方、課題としては消費地から離れたところに生産現場があるため、流通の問題が考えられます。これを乗り越え、ぜひ多くの方に当園の花を手にしていただきたいです。私はこのまま岩手園芸の経営を続けていき、息子へ上手くバトンタッチしたいです。その後もずっと、花の生産に携わることができればと思います。

【Just30周年】スペシャル質問!

結婚30周年を迎え、どう感じますか?

巧さん あまり実感は無いです。妻とは朝昼晩一緒にいるからですね。30年経つのもあっという間に感じますが、2人で相談しながら様々な転換期を乗り越えてきました。改めて妻に「感謝」の言葉を送りたいです。

結婚30周年を迎える秘訣は?

千恵子さん 共通の話題や趣味があると、やはり楽しくて良いですね。お互い旅行好きのため、休日は一緒に出掛けています。私が大谷翔平選手や菊池雄星選手のファンですから、最近では野球観戦にも行きますよ。

千恵子さん 目標として、売り上げを伸ばすことはもちろん、当園の花を手にした多くの方に喜んでほしいという考えがあります。これからは夫や従業員の方々と楽しく続けていけたらと思います。また、同じような境遇の奥様方などと交流する機会があまり無いので、その様な方々と情報交換をしていきたいですね。



いわて 純情むすめ 2018

ハーフタイム



「2018いわて純情むすめ」として活動を始めてから、早くも半年が経ちました。初めてのことに戸惑ってばかりいた彼女たちも、いつしか活動に対して自分の思いを持つように。折り返し地点を迎えた今、これまでの活動を振り返り感じたこと、また残り半年に向けた抱負を語ってもらいました。司会進行役は、リーダーの高橋梨紗さんです。



高橋梨紗



佐藤満里愛



星 家々



鈴木茉琳

印象に残っている仕事は何ですか？

高橋 印象に残っている仕事でパツと思いつくのは、東京のスーパー「いなげや」での販促活動。初仕事が東京で緊張したけど、美味豚のPRをしたり抽選会の対応をしたり、今後の自信に繋がった気がします。

佐藤(満) 初めて行った「奥中山農業祭り」が1番印象に残っています。小さい子からお年寄りの方まで、皆が家族のように温かく出迎えてくれたのが嬉しくて。イワナの掴み取りとか、普段なかなか見れないものが盛りだくさん！農業祭が大好きになりました。

星 私は沖繩での販促活動が印象的でした。他の県のお米も販売されている中、岩手のお米を選んでくれる人が多くて嬉しかったです。初めての沖繩で不安だったけど、見るもの食べるもの全部が新鮮で、貴重な体験をさせてもらいました。

鈴木 私は、紫波町の産業祭りが印象に残っています。地元のお祭りだったから、知り合いや家族がたくさん居て嬉しかったのもあって。私が紫波町出身ってことを伝えると地元の方が喜んでくれて、「頑張ってるね！」って応援してくれました。やっぱり地元って良いなあって思いました！

東山 印象に残っていることは、神奈川県での「ヤオマサフェア」です。岩手と神奈川は距離が離れているけれど、繋がりは強いんだと感じました。来場者にリンドウをプレゼントしたのですが、とても喜んで貰えて心が温かくなりました。一緒に行った麗ちゃんも、近くの海まで歩いて行ったことも素敵なお思い出です(笑)

藤田 私は、9月に行われた農協肉牛枝肉研究

いわて純情むすめになって、自分自身に変化成長はありますか？

一同 会の競りが印象的でした。いわて牛の出番になると大きい声で「わっしょい！」って言うのが盛り上がるんです。

佐藤(良) 私は、さんさ踊りが印象に残っています。純情体操と並行の練習で大変だったけど、7人が1つになって踊ることができて嬉しかったです。一生することのない、貴重な体験だったなって思います。

佐藤(良) 前より責任感を持つようになったことです。時間や言葉遣い、行動に気を付けるようになりました。でも、まだ皆に頼ることが多いので、これからもっと気をつけていきたいと思っています。

東山 私は色々な世代の人と話すようになって、もっと人と話すことが好きになりました。あと、前は受け身の態勢で人に頼りがちな部分が多かったけど、最近は自分から行動を起こすようになりました。行動力が身についたんだと思います。

星 純情むすめになるまでは、人前に立つことはあまり無かったですけど、今は度胸がついたかなって思います。他にも、スーパーで必ず産地チェックをしたり、農畜産物を取り上げられた番組は欠かさず見るようになったりしました。

藤田 私も、何を運ぶにしても銘柄を気にするようになりました。意識してみると、気づくことが沢山あります。学食のお米は

全国の消費者は、県産農畜産物をどうみていますか？

佐藤(良) お米の販促をしていると、「岩手県はお米」っていうイメージが強く持たれていると感じました。シャインマスカットの試食販売の時に「岩手でもマスカットを作っていたんだね」っていう声が多くて。味は美味いから、あとはPR次第なのかな。お米以外にも良いものがあるよ！ってことを伝えたいです。

鈴木 に緊張感を持ちつつ頑張っていきたいと思っています。私生活でも、純情むすめの自覚を持つて過(こ)したいです。

鈴木 岩手の人に支えられて活動した前半戦でした。後半戦は、私が皆さんを笑顔にしたいですし、応援に応えられるように、岩手の良さをもっとPRしていきます。

佐藤(満) 生産者の方や、生産者が作る農畜産物は輝いているし、私自身も純情むすめとして輝かせてもらっているんで、県外の人にその輝きを伝えていきたいです。

星 私は、日々学ぶことが多くて成長できた半年間だったと思います。残り半年間では、いわて純情むすめのことをもっと身近に感じてもらいたいなって思います。

藤田 生産者の方の育てた野菜やお米への愛情をいっぱい感じる事ができました。裏で支えてくれる人もいて…。そういう皆の頑張りを消費者の人に伝えていきたいです。

東山 私も、生産者と生産者、生産者と消費者、消費者と消費者といった感じで、人と人の繋がりを大切にできた半年間でした。残り半年も人と人が繋がるきっかけを作れるような活動をしていきたいです。あと、若い世代の人が県産農畜産物を知ったりする機会が少なくないと思うので、そういう機会ができればいいと思います。若い人たちが求めるものって何だろう？ Instagramかな？

一同 うーん、なんだろう？…

東山 例えば岩手の農畜産物をインスタ映えするように盛(も)って…ってすれば、もっと若い人に分かってもらえるかなって思った！

高橋 私も今までの業務を活かして、岩手の魅力を伝えていきたいです。県外にPRするのはもちろん、岩手の人にも県産農畜産物に自信を持ってもらいたいなって思っています。そうなるように、「2018いわて純情むすめ」の7人で残り半年も頑張っていきたいと思います！

佐藤(満) 県外のスーパーで販促をした時に「岩手ものをよく食べるよ！」って声をかけて下さる方が居て、岩手ものは愛されている気がしました。今は贈答品で岩手ものを知る人が多くて、そこから魅力が伝わることもあるんだなと思いました。

鈴木 私も、青森県の八戸市でイベントをした時に「岩手の肉を一回食べたら、それ以外の肉を食べられなくなったよ」って言うている方がいて、需要があると感じました。あと、岩手の野菜や果物って、他の県に比べて形が綺麗！

佐藤(満) 確かに、傷があまり無い！

鈴木 そう！傷が少ないし、野菜も花も色が綺麗。

高橋 質が良い証拠だね。

藤田 質が良いからこそ、値段が高くて岩手ものを買うよって人が多いのかも。私の知り合いがSNSに「純情産地いわてのトマトを買ったよ」って載せていて、それ位嬉しかったんだなって思った！岩手ものものに信頼を感じているんじゃないかな。

東山 私も、消費者の方達は「安全で美味しい」って捉えていると思います。販促活動でよくお世話になる、東北や消費地なら岩手のそういうイメージが浸透している気がします。でも、九州や四国とかにはまだ浸透していないかも。もっと多くの人に岩手の農畜産物の美味しさを知ってほしいです。

星 私もそう思います。いわて牛の販促をした時に「私はいわて牛しか食べない！」って人もいました。まだまだ知られていないことがあると気づきました。一人でも多

くのの人にPRしていかないとダメな気がします。

高橋 近隣の仲の良さが根強いからこそ、岩手県の農畜産物を選んでくれるののかも。岩手ってことが分かって、岩手の農畜産物っていいのは中々伝わりにくい。東北はもちろん、それ以外の地域にも広くPRしていきたいです。

佐藤(満) 純情むすめの私たちは、「岩手もの」を食べよう！って意識的に思うんじゃないですか。でも普通の人だったら、岩手ものとか関係なく食べるだろうから、そこが難しい。岩手の美味しい農畜産物だけでもいっぱいあるんだから、もっと食べて欲しい！HPやYouTubeなどのネット媒体を使ってPRするっていうのはどう？

鈴木 「純情むすめ」のFacebookも見てよ！「純情むすめ」の人がたくさん居るから、SNSで純情むすめについて調べた時に、県産農畜産物もひっかかれば効果があるのかなって思う。もう大いに私たちが活用してほしい！(笑)

一同 (笑)

高橋 試食販売をした時に、食べてもらえても買ってもらうまでが難しいなって思いました。ねぎの試食販売で、ねぎスープを試食した時、「美味しいね。これどうやって作ったの？」って聞いてくれる人が多く居て、レシピも分かってもらって買ってやすくなるんだらうなって思ったんです。その食材の美味しい食べ方も一緒に紹介できたら良いですよ。

藤田 確かに、レシピ付きで紹介って良いかも。

鈴木 ズッキーニとトマトの試食販売のときに、レシピも一緒に配った時があったけど、「いいね！今日の夕飯にするよ」って言うて買ってくれる人が多かった！

一同 いいね！

佐藤(満) 買うきっかけに繋がりますね！

東山 私は、一度に沢山の岩手ものを知ってもらう機会があれば、良いなあと思います。例えば、りんごだったらいくつかの品種を食べ比べて、どんな味の特徴があるのか、自分だったら何が一番お気に入りか…。楽しみながら知ることができたら、心にも残るだろうなって感じます。

高橋 岩手ものが美味しくてことを伝えるために、試食って大事。地元の人だと当たり前になってしまっているけど、県外からのお客様には興味を持ってもらいたいから、そこを上手くPRしていけば良いのかなって思った！

佐藤(良) 私は、岩手の農畜産物を一番わかりやすく伝えられるのは「純情体操」だなって思っていました。

一同 おー！

佐藤(良) 歌詞に県産農畜産物の魅力が詰まっているので、それをもっと拡散していきたいです。

星 確かに、伝わりやすそう！6月に保育園で食育活動があるみたいだから、そこで「純情体操」を踊れば、岩手の農畜産物を知ってもらえる機会になるんじゃないかな。若い世代に向けたPR方法として、これから「純情体操」を活用していきたいね！

佐藤(良) 私は、これからも初心の気持ちを忘れず

花巻産の「ひとめぼれ」だっことを知ったり。どこの産地で採れたのか、どんな味の違いがあるのか、知らなきゃいけないと思います。

鈴木 私も似たような感じで、スーパーで買い物をする時に岩手県産のものを選ぶようになりました。あとは、立ち方が劇的に変わりました！大学の学習先で、無意識に純情むすめの時の立ち方をしていたんですけど、「綺麗だね」って褒めて貰えたんです(笑)

一同 すごくいい(笑)

高橋 自然と姿勢がスツと伸びて(笑)

鈴木 見られている意識を自然と持てるようになったのかな。

高橋 私も茉琳ちゃんと一緒！前より背筋が伸びるようになったと思います。あとは、県産農畜産物やJAがテレビに映ると、「おっ！」って反応するようになりました。

佐藤(満) 確かに、人に見られている自覚が身についた気がします。私たちのPRが悪かったら、生産者の方の努力が台無しになっちゃう。品物の特徴をしっかり調べて、責任感を持ってPRする…。そういう意識が芽生えてきたし、これからも大事にしていかなきゃって思います。



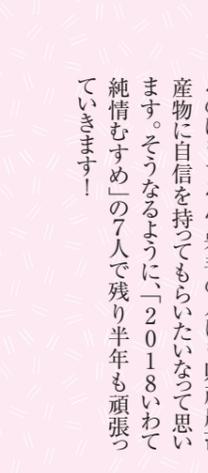
佐藤良夢



藤田麗



東山佳永



高橋梨紗

いわて純情りんごをPR キャンペーン開幕 平成30年12月1日(土)

「岩手アップル2weeks」キャンペーン開幕イベント

岩手県は12月1日(土)に、盛岡市前潟のイオンモール盛岡で「岩手アップル2weeks」オープニングイベントを開催しました。12月1日～14日の2週間を「岩手アップル2weeks」と名付け、県内百貨店・量販店・飲食店などで、いわて純情りんごを使った料理やスイーツを提供し、いわて純情りんごの認知度向上を目的にキャンペーンを展開しました。

キャンペーン開幕イベントには、達増拓也岩手県知事、JA岩手県五連の久保憲雄会長、岩手冬恋研究会の熊谷峰副会長、賢治の土俵の畠山武志代表取締役、本会の畠山俊彰本部長など、生産から流通関係者が出席。達増知事は「岩手県は果物の名産地です。りんごをはじめとした様々な果物を県内外にPRしていきます」と話しました。

当日は、県産プレミアムりんご「冬恋」の販売開始日。いわて純情りんご「冬恋」は、昨年度販売額1億円を達成しました。今年度は、販売額1億4千万円(10kg×2万ケース)を計画。「冬恋」は、岩手県で生まれた品種「はるか」のうち、光センサー選果機で精度と蜜入りを測定し、高い水準を満たしたものを選果しています。このキャンペーン中も、「冬恋」のPRイベントが開催され、12月14日(金)には「冬恋」を中心とした県産りんごを販売する「いわて冬恋day」が開催されました。

JA岩手県五連の久保会長は、今年度の県産りんご生産状況について、「一時は台風の影響を受けましたが、生産者の努力があり、平年より良い品質に仕上がっています」といわて純情りんごの出来映えを評しました。



いわて純情りんごを手に開幕宣言をした達増知事ら

岩手の食材で選手を応援!

平成30年12月10日(月)、12月12日(水)

県立黒沢尻工業高校ラグビー部、 県立遠野高校サッカー部 贈呈式

JAいわて花巻とJA全農いわては、「第98回全国高等学校ラグビーフットボール大会」に出場する県立黒沢尻工業高校ラグビー部と、「第97回全国高校サッカー選手権」に出場する県立遠野高校サッカー部への贈呈式を行いました。それぞれの高校に、お米120kgと県産豚肉1頭分、金一封を贈呈し、県産食材で選手を激励しました。

12月10日(月)に行われた贈呈式には、黒沢尻工業高校の三田章徳校長、伊藤卓監督、佐藤稜真主将らが出席。12日(水)の贈呈式には遠野高校の阿部伸校長、長谷川仁監督、太田竜雅主将らが出席しました。JAいわて花巻の阿部勝昭組合長と本会の高橋司副本部長から「県産食材を食べ、力をつけて頑張ってください」と両校にエールを送り、全国大会での選手の活躍を祈願しました。



本会高橋副本部長より、いわて純情豚1頭分を受け取る佐藤主将



遠野高校贈呈式終了後の記念撮影

いわて牛の魅力子どもたちへ 平成30年11月29日(木)

いわて牛・いわて短角和牛学校給食の日

JA全農いわては、いわて牛普及推進協議会とともに「いわて牛・いわて短角和牛学校給食の日」と称し、食育イベントを開催しました。対象となった県内小中学校・特別支援学校の学校給食に、いわて牛・いわて短角和牛が使用されました。

盛岡市立高松小学校では、本会職員による出前授業を実施。子どもたちは、いわて牛の特長やおいしさの秘訣、生産から流通までの流れを学びました。子どもたちの興味関心はとて深く、「育つ環境や餌によってお肉の品質は変わるの?」「お肉の値段はどうやって決まるの?」等、多くの質問が飛び交いました。最後に「お肉になるまでには、農家さんを始めとして沢山の方々が携わっています。その方々とお肉になった牛さんへの感謝を込めて、『いただきます。』を言いましょ」と子供たちに伝え、命をいただく大切さを教えました。授業終了後は机を囲んで給食を食べ、いわて牛が使用されたビーフシチューを味わいました。

本会畜産酪農部の後藤和彦部長は、「岩手県は農業が盛んな県です。お米や野菜、お肉等農家さんが作ったものを美味しく食べて、皆さんが大人になったときにその美味しさを次の世代に伝えてください」と子どもたちへ呼び掛けました。



子どもたちが積極的に参加し、盛り上がった授業

若手酪農家の技術向上に向けて

平成30年11月30日(金)

岩手県・若手酪農家の集い パートIX

岩手県の酪農関係団体で組織する岩手県乳質改善協議会は、県内の酪農後継者やJA担当者など約90名を参集し、盛岡市内のホテルにて「岩手県・若手酪農家の集いパートIX」を開催しました。この集いは若手酪農家間のコミュニケーション形成と、研修・情報提供による相互の研鑽を目的に開催されており、今年で9回目を迎えます。

今年は十勝農業協同組合連合会による「乳中ケトン体(BHB)の活用について」や、フォス・ジャパン(株)による「最新の生乳検査について」、アイデックスラボラトリーズ(株)による「PAG(妊娠関連糖蛋白)の利用について」、一関農業改良普及センターによる「ちびちび哺乳のススメ」の講義が行われ、最新の酪農に関する技術や情報が提供されました。

また、「第36回全農酪農経営体験発表会」にて最優秀賞を獲得した山崎敏さん(岩泉町)による最優秀賞作品の発表も行われ、自身の経営方法や目標の見える化について語られました。

今後も岩手県乳質改善協議会を始め、JA全農いわては、若手酪農家間のネットワーク形成・情報発信に努めて参ります。



山崎さんによる最優秀作品の発表

更なる豚肉生産を目指して

平成30年11月29日(木)

平成30年度岩手県農協養豚経営者連絡協議会研修会

11月29日(木)に岩手県農協養豚経営者連絡協議会による研修会が開催され、県内生産者・農協・JA全農いわておよび関係会社の畜産者47名が出席し、養豚・飼料情勢の報告や、平成29年度肉豚出荷成績優秀者の表彰式が行われました。

毎年この研修会では、系統銘柄豚の確立ならびに生産意欲の向上を目的に、年間の肉豚出荷成績について「出荷頭数平準率部門賞」「肉質上物率部門賞」「ストライク率部門賞」の年間優秀者を表彰しています。今回は年間肉豚出荷頭数ごとに計8名の生産者や農場がそれぞれの部門賞を受賞し、岩手県農協養豚経営者連絡協議会の平谷東英会長から賞状が手渡されました。

研修会後半には、衛七木田ファームやJA全農北日本くみあい飼料(株)による農場紹介が行われ、さらなる技術向上を目指し、健康に育てた豚を消費者に提供するための情報共有をしました。受賞者は次の通りです。

【部門賞】

年間肉豚出荷頭数	◆出荷頭数平準率部門賞	◆肉質上物率部門賞	◆ストライク率部門賞
〈1万頭以上〉	農事組合法人八幡平ファーム (JA新いわて 久慈)	農事組合法人八幡平洋野牧場 (JA新いわて 久慈)	
〈2千頭以上1万頭未満〉	佐々木一吉(友農場) (JAいわて花巻 遠野)	株式会社のだファーム FVファーム (JA新いわて 久慈)	有限会社七木田ファーム (JAいわて中央)
〈2千頭未満〉	齋藤清利 (JA新いわて 宮古)	木村誠 (JAいわて花巻 北上)	菅野智宏 (JAいわて花巻 北上)



平成29年度肉豚出荷成績優秀者ら

“安全・安心・美味しい”豚肉を紹介

平成30年11月17日(土)

2018「南部ピュアポーク」料理講習会

(株)よこまち、(株)いわちく、JA新いわて、JA全農いわては、岩手県産ブランド豚「南部ピュアポーク」を使用した料理講習会を開催しました。よこまちストアの顧客約30名を対象に行い、SPF南部ピュアポークの説明や調理実習を実施しました。

SPF南部ピュアポークは、全農ハイコープSPF豚(特定疾病を持たない豚)が両親で、背脂肪の厚さ・肉色・肉の柔らかさが特徴的です。厳しい認定基準の要件を満たしたSPF豚認定農場で、安心・安全に育てられています。

料理講習会では、講師に料理研究家の下田真紀子氏を招き、SPF南部ピュアポークを使用した「豚ひき肉のピーマンの肉詰め」「豚バラのキムチ豚汁」「豚肩ロースとりんごの白ワイン煮込み」の3品の作り方を紹介。参加者はグループごとに分かれ調理し、最後に自分たちが作った料理を試食しました。SPF南部ピュアポークの味わいに、多くの参加者が「美味しい」と笑顔を見せていました。



下田先生の話を熱心に聞く参加者たち



新年、あけましておめでとうございます。昨年は入会して1年目だったこともあり、目の前のことで精一杯の年でした。年が明けた今、これからは少し余裕のある行動を心掛けたいと思います。

また、ついに今年は私の干支である亥年となりました!余裕を持ちつつも、ちょっと愚直に猪突猛進で突き進んで参りたいと思います。今年もよろしくお願いたします。(井戸川)



いわての牛乳

ありがとうキャンペーン

サンキュー
合計 **390**名様に
抽選で当たる!

期間 2019 **1/7**月
2/28木

Quality of Iwate



純情産地いわて
宣伝本部長
のん



The Rich Course

リッチコース

20ℓを一口としてご応募ください がんばって集めて応募しよう!

Rich!
2名様

パナソニック
スチーム&変圧力IHジャー
(5.5合炊き)
SR-VSX108
お米の特性に合わせた火加減で炊き上げ!
銘柄炊き分け機能搭載!

Rich!
2名様

東芝
ブルーレイディスクレコーダー
レグザタイムシフトマシン
DBR-M2008
まるごと録(と)って、スマホでも楽しめる。
"時短"レグザタイムシフトマシン。

Rich!
4名様

八幡平市 新安比温泉 静流閣
紫石町 ホテル森の風 鶯宿
花巻市花巻南温泉 渡り温泉 別邸楓
一関市麻美町 山王山温泉 瑞泉郷
上閉伊郡大槌町 三陸花ホテル はまぎく

選べる!ペア宿泊券 ※ご希望の旅館は、当選後にお選びいただけます。



The Chance

チャンス.1

10ℓを一口としてご応募ください お好みの賞品を選んで当たる!

A賞
5名様

いつでも、どこでも、誰とでも。
任天堂
Nintendo Switch

B賞
8名様

蒸込み料理から
時短ごはん
スイーツまで!
ヨイスミ
マイコン電気圧力鍋
KSC-3501/R

C賞
10名様

とにかくラクに、
しっかり雑巾がけ!
CCP コードレス
回転モップクリーナー-Neo
ZJMA17

D賞
20名様

いわての食材を
堪能しよう!
いわて純情ギフト
5,500円コース

E賞
30名様

美味しい
いわての恵み!
いわて牛焼肉
もも・ばらミックス

F賞
100名様

白くてつややか
軽やかな食感!
いわて純情米
銀河のしずく 5kg

The Chance

チャンス.2

リッチコースまたはチャンス.1には
ずれた方の中から
抽選でいずれかが当たる!

109名様
いわての牛乳乳製品詰合せ

100名様
ミルクオリジナルフェイスタオル

*不測の事態が生じ賞品の入手が困難となった場合は現行相当品に変更させていただく場合がございます。予めご了承ください。*写真はイメージです。*色はお選びできません。

対象メーカー

- ・(有)安比高原牧場
- ・(有)岩泉乳業(株)
- ・(株)岩手牛乳
- ・大石乳業(株)
- ・(一社)葛巻町畜産開発公社
- ・岩手ふるさと農業協同組合
- ・(一社)田野畑村産業開発公社
- ・奥中山高原農協乳業(株)
- ・(株)おおのミルク工房
- ・(小)岩井乳業(株)
- ・タカナン乳業(株)
- ・(株)湯田牛乳公社
- ※農協牛乳もキャンペーンの対象となります。

応募先

〒020-8799 盛岡中央郵便局留「いわての牛乳ありがとうキャンペーン」係
受取人/岩手県盛岡市名須川町23-27号 株式会社吉田印刷

応募方法

対象メーカーの牛乳パックに記載の公正マーク表示部分を10ℓ分(1ℓ=10枚、500ml=20枚200ml混合)を1口(リッチコースは20ℓ分を1口)として、専用応募封筒または一般封筒に必要事項(郵便番号・住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ご希望のコース・賞品)を明記の上、ご応募ください。お一人様1口までご応募いただけます。

公正マーク表示部分の種類別名称に「牛乳」以外の名称が記載されているものはキャンペーン対象外です。

公正マーク表示部分はココだよ



応募締め切り 2019年3月4日(月)【必着】

JA全農いわて

いわての牛乳ありがとうキャンペーン事務局 [(株)岩手広告社内]

☎0120-623-706

JA全農いわて

検索

受付期間 2019年3月末日まで 受付時間 10:00~17:00(平日のみ)

*個人情報取扱い:お預かりした個人情報につきましては、賞品の発送のみに使用いたします。お客様の承諾なく第三者に開示・提示いたしません。



私たち全農グループは、
**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**
になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA 全農いわて 総合企画課
JA 全農いわてホームページ

〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL019-626-8615 FAX019-653-6145
<http://www.junjo.jp>

